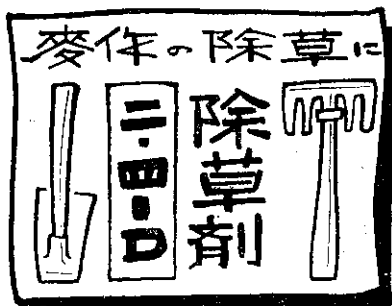


譯摘文日



農業の仕事の中でも、除草は最も努力と時間のかかるもので、泥まみれになつて働くこの仕事は、誰でも嫌なものです。このような農家の労働を軽減して、人力の代りに薬剤で除草する方法はないかと研究されて出来たのが二・四―D除草剤です。

この二・四―Dは除草のほか、作物の根莖部の發育を促進し、産量を提高するので、現在では諸外國で廣く各種作物の除草に使用されて居ります。二・四―Dは水田の除草に使用する事も勿論できますが、臺灣では小麥に使用するのが最も効果が大いので、次に臺中區農林改良場で使用した結果を紹介してみませう。

二・四―Dは有毒か
二・四―D除草剤は一切の雜草を殺死するから、人畜に有害ではないかと心配する人も多いと思ひますが、純粹な二・四―Dは人畜のみならず魚類に對しても無害です。

次に、小麥に對して試験の結果を見ますと、二・四―D施用後、小麥の生長が少し低くなり、生育日數も二・三日延長しますが、收量には少しも影響ありません。

小麥に使用する場合は
施用量：一回施用と二回施用とがあります。一回施用の時には、小麥の播種後三〇日に、毎分地について五〇グラムを使用します。二回施用の時には、播種後二〇日と四〇日に、一分地について毎回五〇グラムを使用します。

用法：小麥に對して施す時には一千八百倍に薄めますから、五〇グラムの二・四―D薬剤に對して九〇リツトル（五日



天氣の良い日に行ふ。果が得られました。二

斗)の水を加へれば良いわけです。溶液は噴霧器で雜草に撒布します。

施用後の効果：雜草によつて枯死するまでの時間は一定しませんが、早いもので二・三日、遅くとも一〇―一五日で枯死します。

試験の結果：
處理方法 毎分地の收量
無除草 一九四公斤
人力除草 二二七公斤
二・四―D施用一回 二一七公斤
二・四―D施用二回 二三五公斤

右の表で解るように、小麥の收量は二・四―Dを二回施用した場合に最高で、一回を施用しても簡單で相當な効果がある事がわかります。

二・四―Dの實際利益
現在、臺灣で賣出されてゐる二・四―Dは「石原牌」で、五〇グラム入り一箱が十五元です。そこで、農村の工賃を一工八元として計算すると、次の如き結果が得られました。二

・四―Dを使用すると、無除草と比較して三十五元から五十三元の利益があり、人力除草と比較しても二十八元から四十六元の増収となります。

その他の注意
①氣温が低く、土地が乾燥している時には、二・四―Dの効果が減少しますから、天氣の良い日に撒布します。また、撒布後五・六時間内に大雨が降つた時には、藥の効果が減ります。

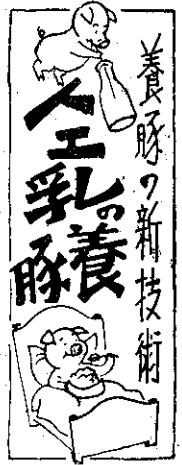
②二・四―Dを使用する時には、麥の生長を見て撒布し、苗が幼少すぎたり、分蘗初期あるいは出穂期以後には使用しない方が安全です。この意味から二・四―Dの施用適期は播種後二〇―三十五日と云へます。

落花生は本省では廣く栽培されていますが、その單位面積の收量は實に貧弱で、アメリカの平均收量と比較すると實に大きな差があります。その主要な原因を考へますと、施肥法が不適な場合が多いと思はれます。

土壤：落花生に適した土壤は、有機質の含量が多く、石灰分を適當に含み、排水の良好な砂質壤土で、酸性土壤では良い收穫が得られません。故に酸性土壤の場合には、堆肥、あるいは石灰を施して、酸性を緩和する事が必要です。

施肥：落花生は豆科植物であるため、肥料としては磷、加里が最も重要となります。磷に缺乏した場合には、結實や根部の發育が不良となります。加里肥料が大切な理由は、落花生に豊富に含まれた油脂や蛋白質を作るには、ぜひ加里が必要となるからです。

落花生の標準施肥量は、毎公頃について、磷酸三〇―六〇公斤、加里四〇―八〇公斤、窒素は必要な場合には約二十五公斤を施します。もし、落花生を、その他の作物と輪作している場合には、土壤中に堆肥などが既に施されているので、窒素肥料は少量あるいは全然不必要です。



養豚をして農家なら多くの方が経験する事ですが、母豚が子豚を多く生みすぎた場合、乳不足のために、何時も子豚を二・三頭、死なしてしまふ事です。

この豚の人工乳については早くから研究されて来ましたが、豚乳は他種の乳よりも濃厚なため、代用乳を製造する事が困難で、最近やつと完成したものです。また、アメリカでは小豚を人工乳で飼育するに如何

ひます。今回、ここに紹介するのは、離乳前の小豚を人工乳で飼育するに如何

● 読者にお知らせ！

最近、國語が各地に普及されましたので、この頁の日文版も、いよいよ來年（民國四十四年）一月一日より廢止する事になりました。然し、讀者のなかには、日文の説明が無いと不便に思ふ方もあると思ひますので、このよ

うな讀者に對しては、別の紙に日文を印刷して、無料でお送りしますから、欲しい方は早くお申込み下さい。

申込みの形式はハガキでも封筒でも良く、住所、姓名を明記して、簡單に「一月一日より日文版を送れ」と書き、「臺北市濟南路一段一號、豐年社發行部調査室」までにお送り下さい。

するのみならず、母牛の牛乳を節約するために、離乳前の小豚に對しても人工乳で飼育して、利益をあげています。

材料：日本の農業研究所の報告を見ると、家畜の人工乳として、小麦粉、大豆粉、魚粉、炭酸石灰、食鹽等を細い粉にして、適當に混合して給へています。然し、豚の母乳は脂肪が多いから、小豚に對しては、大豆粉の代りに黄粉（キナコ）を用い、その他に生長促進のために糖蜜や抗生物質を加へ、ビタミン補給として酵母やビタミン劑をも少量混合しています。

給乳の方法：人工乳の給

乳は子豚の生後五日ぐらゐから開始できるが、普通には生後十一・十四日頃に開始した方が安全です。供乳の方法は人工乳の粉末に水を加へて、牛乳よりも少し濃い程度に作り、これを攝氏三三・四〇度に温めて、平底の容器に入れて給へます。初めは小豚が慣れませんが、容器の人工乳に口を押しつけて、呑む事を教へます。その後は慣れるにつれて、自分で人工乳を呑むようになります。給乳中に注

意すべき事は、小豚は空腹するとお互のヘソを吸つて、このために死亡する原因となります。故に、初めのうちは給乳の回数も多くしたり、小豚のヘソにヨードチンキの如き苦味のあるものを塗つておくと良い。この他に特に注意すべき事は、小豚は下痢をしやういから、給乳が多すぎぬよう注意し、糞が異状な時には、人工乳の量を減らすか、或は絶食させて、抗生薬を少量あたへます。給乳の回数は子豚は、一日に何回も乳を呑む性質がありますから、初めは少量づつ七・八回あたへ、徐々に量を増して、生後三〇日以後には五・六回にします。

以上の方法のほか、人間の子供と同じように、哺乳ビン（ビール・サイダ瓶でも良い）に乳首をつけて給乳する事もできます。但し、豚の吸乳は非常に荒いので、人間の子供を飼育する場合と違つて、乳首の穴を大きく開ける必要があり

ます。（農業日本より）



△農林廳では、高冷地栽培蔬菜用として、日本より三百九十公斤の蔬菜種子を最近購入しました。この種子は十一月下旬から分配される予定で、分配の方法と價格を現在研究中です。

△省農會が外國から購入した馬鈴薯種子三千箱は、最近やつと臺灣に全部到着しました。然し、このうち五三八箱は輪腐病で腐敗しているもので、二千四百箱のみを種子用として分配する予定です。これに對しては農會で二〇元を補助するので、分配價格は一六〇元となります。必要な方は各地農會にお申込み下さい。

△四十三年度の第二期作肥料の分配は十一月末で終りますが、まだ分配を受けていない農家は早く農會に行つて受取る事を希望します。雑作とは香蕉、鳳梨、柑桔、タバコ、綠肥等の作物で、水稻と同じように施肥が大切です。